

INFORMATION

No.2025.02
2025年4月

新規実施項目および検査受託中止 のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たな検査項目の受託開始および検査受託中止について、下記
のとおりご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めて
まいります。

謹白

記

■受託開始日 2025年4月28日（月）ご依頼分より

■新規実施項目 Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi） 定量

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
未掲載	2892	Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量 5C141-0000-023-05	血清 0.5	① 真空採血管	冷蔵 (14日)	3~5	194 生化学的検査 (I)	CLEIA	0.84未満 (AU/mL)	※1

■受託中止項目

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	最終受託可能日
未掲載	2867	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)	2025年5月29日（木）ご依頼分まで



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量

カットオフインデックス(C. O. I.)から定量値での評価が可能となりました。

M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体: Mac-2-binding protein glycosylation isomer) は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

従来法によるカットオフインデックス(C. O. I.)から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

▼検査要項

	新規項目(新法)	中止項目(現法)
検査項目	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量	Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)
項目コード	2892	2867
報告書名称	M2BPGi 定量	M2BPGi
検体量	血清 0.5mL	同左
容器	① 真空採血管	同左
保存(安定性)	冷蔵(14日)	冷蔵
所要日数	3~5日	同左
検査方法	CLEIA	同左
基準値(単位)	0.84未満 (AU/mL)	(-) 1.00 未満(C. O. I.)
報告範囲	0.10未満、0.10~59.9、60.0以上	0.10未満、0.10~20.00、20.01以上
報告桁数	有効3桁、整数2桁、小数2桁	有効4桁、整数2桁、小数2桁
検査実施料	194点 ① (「D007」血液化学検査「50」)	同左
判断料	144点(生化学的検査(I)判断料)	同左
参考文献	Uojima H, et al: J Gastroenterol 58(12):1252~1260, 2023.	柴田 宏, 他: 臨床病理 63(1):72~77, 2015.

①保険点数の算定条件

- ・「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」は、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
- ・「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」と「プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ・「ELFスコア」と、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」、「オートタキシン」又は「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

▼相関

